

一般 健康寿命延伸と高齢者福祉・防災

坪井 仲治（みどり21）



昨年9月に静岡県が公表したお達者年齢で、菊川市の男性が県内で3年連続トップとなった。女性も前年より順位を上げており、菊川市の高齢者の皆さんが健康状態を維持することに心掛けている結果である。更なる健康寿命の延伸や高齢者福祉・防災等について質問した。

Q 高齢者がグラウンドゴルフ・フィットネスジム等で体力づくりをされているが、運転免許返納以降の移動手段についての施策は。

A 運転免許証返納者への支援として、運転経歴証明書の交付月に6カ月間を加えた期間、コミュニティバスの運賃を免除している。移動手段を持たない高齢者の皆さんにとってコミュニティバスは、日常生活を送る上で重要な役割を担っていると考えていることから、健康維持のために利用する施設周辺へのアクセスや、停留所の増設なども考慮しながら、より使いやすい移動手段になるよう毎年、運行の改定を行っている。

Q 避難行動要支援者に対する指定

避難所における避難支援について重要と考える事は。

A 指定避難所の避難所利用者のうち、高齢者や障がい者などの特に配慮が必要な人の情報を把握すること、要支援者の体調や状況に配慮した専用スペースの設置、福祉避難所への移送手段の確保など、要支援者の受け入れ・支援を的確に行うことが重要で、菊川市避難所運営マニュアルを避難所運営委員会に周知・啓発し、要支援者などの受け入れ・支援について平常時から備えておく必要がある。



一般 市内後継不在事業所の実態

白松 光好（みどり21）



菊川市として市内事業所の継続性について、どの程度の情報を得ているか。また、今後どのように対応していくかを質問した。

Q 菊川市内中小企業で事業承継を検討している、または後継者を探している企業を把握しているか。

A 令和3年度に菊川市商工会員を対象にアンケート調査を実施。246件の回答のうち「後継者が決まっている」が54件、「後継者候補がいるが未定」が47件であり、全体の41・1%が事業承継を検討していると推測する。「事業承継を希望するが後継者がいない」事業所が18件ある。静岡県の後継者不在率は令和6年度のデータで50・3%と過半数が後継者不在である。

Q 菊川市内の中小企業の事業承継について今後アンケート調査をしていくか。

A 令和3年度の調査以降、状況の変化も考えられるため定期的なアンケートを実施していく。

Q 事業を承継することが困難で、廃業を選択せざるを得ない中小企業

が増えている菊川市内の中小企業で後継者不在企業にどのような対応をするか。

A 産業支援センター職員の訪問から、基礎的な内容のセミナーの開催や専門家の相談の情報提供を実施していく。

Q 菊川市産業支援センターの相談件数の実績は。

A 昨年開業より延べ24件の相談に対応した。

Q 菊川市独自の事業継続補助金の創設は。

A 国や県の制度活用をすすめ、菊川市独自の補助金は現段階では予定していない。

